

はたらく細胞第5話「スギ花粉アレルギー」より

清水茜による細胞を擬人化した漫画。2018年夏にTOKYO MX テレビでアニメが放送された。医療関係者の間でも好評を得た。一部のキャラクター画像については、教育・医療機関での教材利用が認められている。



アニメ版第5話は体内に侵入したアレルギーに対する過剰すぎる免疫反応についての話。



マスト細胞により放出された大量のヒスタミンにより、緊急用免疫システムが発動してしまう。

これにより、ロケット弾 (くしゃみ)、地殻変動 (鼻づまり)、大洪水 (涙) が発生。

白血球「それぞれの細胞が自分の仕事を全うしたただけなのに、こんなことになってしまうとは…」

やがて、ロボットの姿をした「ステロイド (副腎皮質ホルモン)」が現れ (薬剤投与)、

レーザーやガトリング砲をぶっ放す。アレルギー症状はおさまったものの、街 (体内) はボロボロ。

※最後はギャグ漫画のような終わり方だが、ステロイドは効果的でも副作用があることを表現している。

※記憶細胞も登場して、大災害についての「言い伝え」をコメントするが、あまり役に立っていない。